

明るく元気の出る町

平成10年3月1日発行・毎月1日 編集・発行/秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1998

3

NO.516

二月七日、八日・大平雪まつり



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

米の需要と価格安定のために

緊急生産調整推進対策

今年の転作目標面積は336.1ha
転作率は28.9パーセント

コメの在庫調整のため、全国的な生産調整が

世界的には、穀物在庫の記録的な低水準が続いていますが、わが国では三度目の記録的な米の過剰を迎えようとしています。

平成十年には、国産米持ち越し在庫量が三七〇万トンに達することが見込まれます。

国では、この在庫量を適正備蓄水準の上限である二〇〇万トンにすることを目指しています。

そのため、新たな米政策として農林水産省では、「生産調整対策」、「稲作経営安定対策」、「計画流通制度」の運営改善の三つを基軸に、政策を進めています。

新たに「緊急生産調整推進対策」が実施される

これにより、平成八年、九年の二カ年で実施した「新生産調整推進対策」終了後、平成十年度からは、米の需要と価格安定のため、新たに「緊急生産調整推進対策」が実施されます。

これは米の需要と価格の安定にむけた対策と併せて、稲作と転作

ミニ用語解説

生産調整

過剰基調にあるコメの需給を均衡させる手段のひとつです。

日本では、コメの需給均衡のために、価格の調整以上に生産調整に重きを置いており、一九六九年、七〇年度の緊急対策を経て、七一年度から本格的に生産調整を開始しました。その内容は、状況の変化とともに変更しながら今日に至っています。

新政策（新農政）

市場開放圧力の高まりや、国内農業の深刻な状況を踏まえ、農林水産省が一九九二年に示した「新しい食料・農業・農村政策の方向」のことです。新政策における経営目的は「他産業並の労働時間と生涯所得を確保できる」効率的で安定的な経営体としていきます。

緊急生産調整推進対策

基本的には、「新生産調整推進対策」と同じです。

生産調整の態様は、①麦、大豆などの作付を行う「転作」②いわゆる水張り水田である「調整水田」③転作を目的に農協な

とが結び付いた水田営農を確立するための取り組みです。

今年の転作内容は、

どうなるのか

それを受けて、町では、稲作部会、緊急生産調整推進対策推進協議会幹事会、協議会を開催、二月十三日には、有鄰館で平成十年度緊急生産調整推進対策支部長会議を行いました。

本年度の対象水田面積は、一、一六一ヘクタール、生産調整目標面積は、三三六・一ヘクタールとなっています。配分率は平成九年度の二二・二パーセントより六七パーセント増の二八・九パーセ

ントです。水田面積が一〇アール以上の農家に一律配分されます。(ただし水田面積一〇アール未満の飯米農家には配分はなし)

会議では、減反しなければどうなるか、減反だけでなく米の消費拡大も必要ではないか等、実際に生産調整を実施する農家からの率直な質問などが出されました。

のちほど、農家各戸に確定した転作面積通知を行います。二十一世紀へ向けた日本農業のため、趣旨を理解されご協力願います。

目 指 せ、 認 定 農 業 者。

説明会が三月十日に

九年産米価の下落、平成十年度

以降の転作の強化など、農業環境の混迷に対して、国、県では認定農業者に対する支援制度を強化する方向のようです。

このことについて、町では三月十日午後六時より、役場第二庁舎二階会議室で認定農業者制度説明会を開催します。認定農業者を目指す農業者の方はご参集下さい。なお、詳細は役場産業課産業係までお問い合わせください。

【〇六九—二二—一六】

秋田県指導農業士に

小松義嗣氏

農業技術、経営管理能力に優れ、地域の農業振興に先導的役割を果たしている者に認定される指導農業士。この度、小松義嗣氏(松柴)が認定を受けました。これは金子拓雄氏(新町)に引き続き、二人目の指導農業士認定です。

稲作単一経営に葉たばこを導入、山間部の地域性を活かし、安定した農業経営を実施していることが、高く評価されました。今後の活動が期待されます。



▲指導農業士認定の小松氏

一頭あたり平均価格 40万円

畜産の行方を占う、今年最初の子牛市場が2月8日、9日に広域由利家畜市場で行われました。本町からは、8日に74頭の子牛が上場され、67頭が成立しました。

1頭当たりの平均価格を見ますと、402,495円と、12月と比較して334円下がり、昨年の初セリと比較すると26,843円下がりました。この内訳として、去勢牛が1頭平均で434,461円、雌牛が1頭平均で341,341円になっています。また、12月と比較すると、去勢牛が21,264円下がり、雌牛が23,958円上がっています。昨年同期と比較すると去勢牛で10,747円、雌牛で59,432円それぞれ下がっています。今後なお一層の奮闘を期待したいものです。

二月子牛市場

昨年の初セリと比較、
2万6千円の減

葉タバコ収納状況

一月二十八日に、葉タバコ収納反省会が開かれました。平成九年度の収納状況は、販売総額で一億二千三千万五千四百八十円、一〇アール当たり平均価格が四十一万七千六百六十二円でした。なお、平成十年度の栽培面積目標は二九ヘクタールとされています。会では、九年度の作柄概況、売渡し状況の報告が行われました。

とも補償

生産調整を実効あるものとするために、地域内の農家が水田面積に応じて拠出金を出しあつて、その合計金額を生産調整実施面積に応じて、農家に還元するものです。とも補償に参画しない場合には価格補填の権利がなくなってしまう。

ふるさとを語り、 ふるさとに語りかける会に



秋田で「東由利町を語る会」が開催

町の応援団にと、「熱い思い」語り合う。

二月十日、秋田市内のホテルで、「東由利町を語る会」が行われました。これは、秋田市に在住している町出身者を対象に、今回初めて行われた会です。

会では、発起人代表石綿孝二さんが「ふるさとを語り、ふるさとに語りかける会に育ってほしい。なつかしむだけでなく、町の発展のため手伝いが出来ればとも考える」とあいさつ。その後、阿部幸悦町長が日頃の町づくりの課題や取り組みなどを町政報告を行いました。

乾杯の音頭は、畠山亮二郎前町長。充実した町づくりのためにがんばってほしいと、激励のあいさつがありました。

懇談会では、名前や出身自治会を確認しながら、故郷の話に興じていました。

終わりのあいさつは、阿部剛議会議長。ふるさと東由利に力強いエールをとおあいさつしました。

今後の予定は白紙ですが、これからの活動に期待したいものです。

大琴の分譲宅地整備が

始まります。



分譲宅地整備事業

過疎対策の一環として、基礎的生活環境の整っている基幹的地域に分譲宅地を整備することにより、若者の地元定住を促進、周辺集落から基幹集落への移転希望者、Uターン希望者などの受け入れを図り、人口増と明るく元氣の出る町づくりを目的としている基本計画が、この分譲宅地整備事業です。

全町四カ所ほどの候補地から、大琴地区を先行させることに至った理由として、現在本荘地区まで三十分圏内にあること、また、船木奥ヶ沢バイパスに引き続いて石沢バイパスも完成すると、夏冬二十分圏内に入る立地条件である事から、まずは大琴としたものです。

平成九年度に用地の買収を終え、平成十年度は宅地用地整備を完

町長日記

秋田市の東由利会で

秋田市で東由利会が開かれました。七人の世話人の方々のお骨折りではじめて実現したものです。町から秋田市在住の皆さんに毎月百部ほどの広報が送られています。今回ははじめての試みでありましたから、まずこの方々を対象に呼びかけをしていただいたのでした。五十二名の皆さんがご出席になりました。

まず世話人代表、大琴出身の石綿孝二さんの挨拶から始まりました。会の発足の経過と、ふるさと東由利への思い、そしてより良い町づくりの為に応援団になろうと呼びかけていただきました。私からは、「東由利町は五千二百五十二人の今居住している人の町では有りません、東由利を『ふるさと』としている皆さんみんなの町でもありますから、町づくりに皆さんからも是非ご心配やご支援をいただきたい」と申し上げたのでした。また、町の課題をあげ、取り組み方を申し上げました。

乾杯は畠山亮二前町長でした。近況を話され、地方分権もあり、ますます充実した町づくりに頑張れとの激励のご挨拶もありました。午後六時からの会でありましたが、あっといふ間の二時間半でした。

終わりの挨拶は阿部副議長でした。ぜひこの会を毎年開いていただき「ふるさと」東由利に力強いエールを送っていただきたいと結ばれたのでした。

いま東由利町「ふるさと会」は大きく東京会があり、各旧小学校単位の会があります。特に盛んに活躍されているのが宿小会です。その会員名簿には、電話番号は勿論のこと、生家の屋号まで記載されています。大変団結力のある楽しい会になっています。

また、老方会も昨年会結成十周年になり、私も参加させていただきました。本荘市にも東由利会が



▲懐かしい顔ぶれがそろった



▲次回の再会を誓い合った



▲2月16日高瀬館で行われた協議会

大琴の分譲地は16区画

了、早ければ年度内に分譲の方
向です。

二月十六日、高瀬館で行われた分譲地整備事業協議会では、自治会役員、地元議員など関係者が集まり、予定図面をもとに協議が行われました。

現時点での進行状況、流雪溝の水の確保、自治会加入、団地のネーミングなど、わが町の未来にかかわる内容だけに真剣な討論が交されました。

第14回

大平雪まつり



両日で2600人の入り込み

二月七日、八日の両日、恒例の大平雪まつりが大平スキー場で行われ、約二千六百人が各種イベントに興じました。初日は青空が広がり、絶好のまつり日和。また、たいまつ滑走、どんと焼き、早喰い、花火大会など夕刻から夜にかけてのイベントも暗れ上がり、各々が楽しんでいました。二日目は、スキー、ボーダークロスなどの大会、雪上ペタンク、人間カーリングなどの手作りイベントが行われ、ゲレンデに、明るい声が響いていました。商工会青年部が作った巨大雪像、作業車体験などは、子供たちに好評。皆、白い息を吐きながら遊んでいました。



▲土曜日は快晴。絶好のまつり日和だった

雪像コンテ

スト結果

■優良賞■

作品名「カメ」

制作者「東由利中学校3C」

■努力賞■

作品名「それいけアンパンマン」

制作者「ココナツボーイズ」

■特別賞■

作品名「ピカチュウ」

制作者「商工会青年部」



▲コントロールが難しかった人間カーリング



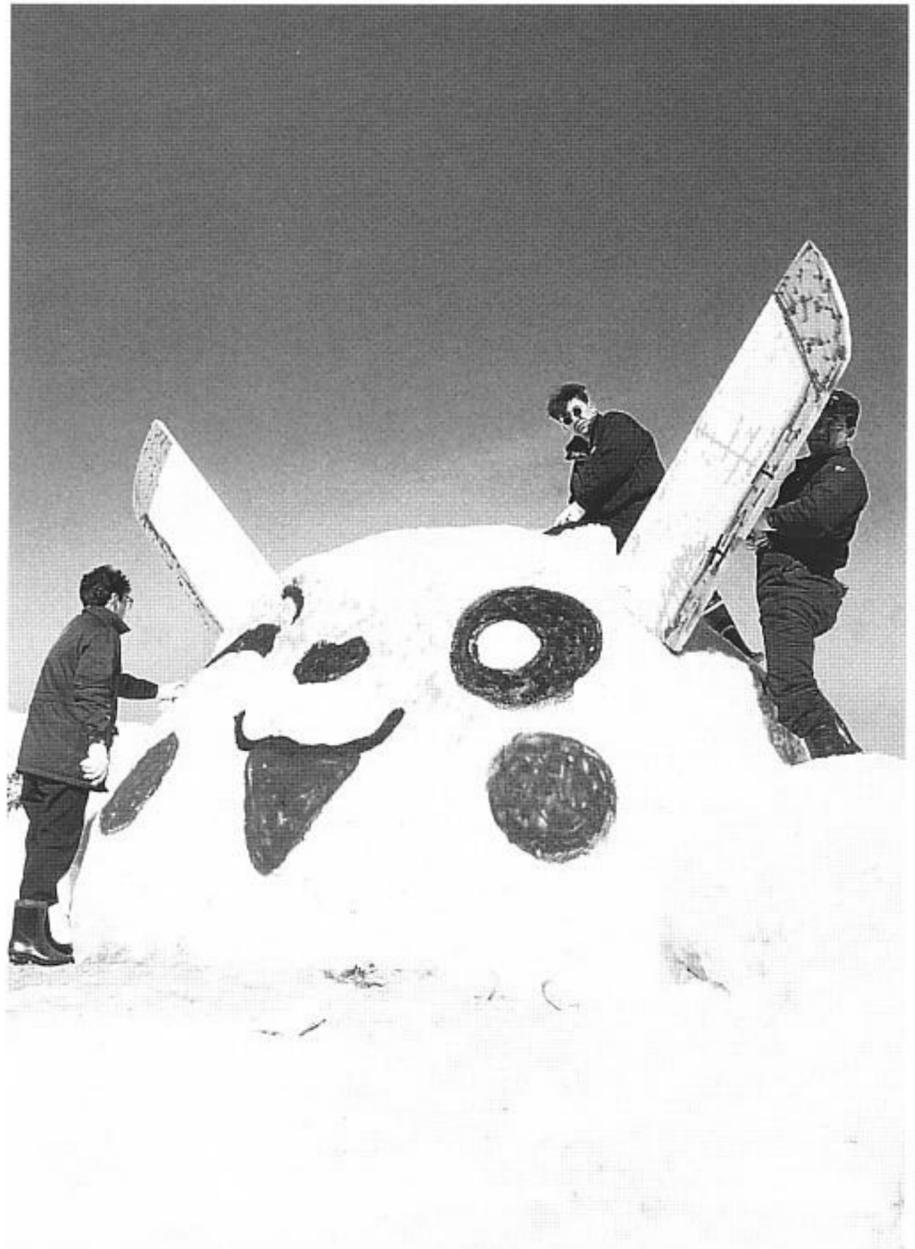
▲子どもたちは季節はずれの花火を楽しんだ



▲寒かったけれど、おいしかった早喰い大会



▲華麗な技を見せてくれた
ポーター夕回大会



▲商工会青年部が作った力作「ピカチュウ雪像」



▲ソリ遊び楽しいヨ

スキー大会結果

二月八日行われた第十四回大平
スキー大会リザルト競技の結果は
以下のとおりです。【敬称略・十
四位まで】

自分が申告したタイムにいか
に近づけるかが競われるだけに、
技術や年齢を問わない競技とし
て好評でした。

- 一位 ■飯田満
- 二位 ■高木志津子
- 三位 ■後藤一彦
- 四位 ■高木健
- 五位 ■原田桂
- 六位 ■塩屋和樹
- 七位 ■川島佳
- 八位 ■柴田斉
- 九位 ■遠藤優太
- 十位 ■斉藤力
- 十一位 ■鈴木寿
- 十二位 ■椎名達郎
- 十三位 ■山内美子
- 十四位 ■原田邦夫



深刻化する少年非行

非行の低年齢化が進む

少年非行や少年が被害に遭う犯罪が全国的に増えています。

お子さんに不安定な様子を感じ取ったら要注意。親子での気持ちの通い合いを図ってください。また地域全体で子供たちを見守る社会を。

少年による非行といえば、昨年五月、神戸で起こった中学三年生による児童殺傷事件、今年に入って女性教師殺傷事件などが記憶に新しいところですが、ほかにも、高校生による強盗の多発や覚せい剤乱用の増加など、少年非行は極めて深刻な状況にあります。

かつての非行の典型は、万引きなど比較的軽い犯罪を繰り返した少年が次第に行方をエスカレートさせていくというものでした。ところがいまは、どこにでもいる非行歴のない少年が、いきなり重大な非行に走る例が数多く見られます。

また、遊ぶ金欲しさから非行に走ったり、他の事件を真似たり、友達同士で安易に、といった点も最近の非行の特徴です。非行の低年齢化や女子非行の増加も心配されています。中学

生による恐喝やひったくり、女子による傷害などが著しく増えているほか、テレホンクラブなどをきっかけとした女子の性非行や性被害のケースも目だっています。

さらに、小学生、中学生を中心に、少年が被害となった犯罪も増加の傾向にあります。また、保護者だけでなく、地域全体で子どもを見守る社会の取り組みも求められています。

非行の一般的な兆候としては、深夜遅くまで帰ってこない、不相应に高価な物を持っているなどが挙げられ、わが子と積極的にかかわり、コミュニケーションを欠かさない保護者の姿勢が必要です。

特徴は、いきなり・遊ぶ金欲しさ・模倣

平成9年度分町税、国民健康保険税の1月完納自治会は17自治会です。

蔵新田、下小路、五海保、寺田、茂沢、岩館、蔵、宮ノ前、黒沢、新処、桂台、中ノ沢、宿、杉森、畑村、八日町、奥ヶ沢
(17自治会)

納税にご協力いただきありがとうございます。【税務課】

平成9年分所得税納期限は3月16日(月)です。

振替納税を利用している場合の振替日は、4月16日(木)です。

わが町の指標・1回

秋田県統計協会 ◆人口密度・五六位◆ (三十五人で発行している「わがまちわがむら」の指標・第六版) が刊行されました。

これは、昭和五十七年度初版以来版を重ねているもので、郷土に対する認識を深めることを目的に発行しています。 ◆年少人口比率・三八位◆ (一

◆総面積・三三位◆ (一五〇・一七平方キロメートル)

◆参考◆
一位 (鹿角市)・七〇七・〇四平方キロメートル
六九位 (飯田川町)・一五・八平方キロメートル

◆総人口・五八位◆ (五千二百五十二人)

◆参考◆
一位 (秋田市)・三十一万一千九百四十八人
六九位 (皆瀬村)・三千八百三十三人

※平成七年国勢調査報告より
◆人口密度・五六位◆ (三十五人/平方キロメートル当たり) ◆参考◆
一位 (秋田市)・六百七十八・七人



数字でながめる町状況

※平成七年国勢調査報告より
◆年少人口比率・三八位◆ (一七パーセント)
一位 (羽後町)・一七・四パーセント
六九位 (阿仁町)・一二・三パーセント

※平成七年国勢調査報告より
◆総人口を年齢によって年少人口 (〇〜十四歳)、生産年齢人口 (十五〜六十四歳)、老年人口 (六十五歳以上) の三つに区分して、総人口に占める年少人口割合を年少人口比率といっています。
なお、生産年齢人口比率は五八・一パーセントで六七位、老年人口では二六・六パーセントで五位になっています。

●献血ありがとうございました●

1月29日()内献血回数
名前が太字の人は400CC



■東光苑前■

大庭満寿子 (14)、**畠山 孝** (21)、**横山一郎** (11)

■役場前■

遠藤 晃 (44)、**嶽石文弥** (48)、高橋孝紀 (40)、小松修一 (40)、**小松和美** (9)、**小松雄一** (9)、高沢稔 (11)、小野長清 (10)、阿部弘章 (56)、**佐々木信幸** (32)、小野信子 (14)

■秋田しんせい農協前■

阿部長悦 (6)、小松 健 (39)、**佐藤英之** (3)、小松淳子 (6)、**小野浩市** (17)、**小松信記** (38)、**小松聖明** (16)、**猪股寿和** (86)、小笠原裕子 (3)

■大東精機前■

小松正二 (68)、**佐藤一裕** (18)

■秋田ルピコン前■

伊東ユミ子 (4)、高橋ゆき子 (15)、**高橋由喜江** (14)、大日向睦子 (20)、佐々木博子 (15)、杉野あや子 (7)、阿部由起子 (26)、遠藤真理子 (10)、猪股友子 (36)、畑山千江子 (18)、**吉田幸実** (21)、**佐々木誠** (7)、佐藤富美子 (12)、八嶋俊子 (10)、**遠藤羊子** (18)、長谷山友子 (9)、**小松五緒子** (42)、**横山昌喜** (32)、大庭和子 (12)、

■本荘高校下郷分校前■

遠藤 歩 (2)、佐藤冬樹 (2)、下田美津子 (2)、高橋満 (1)、阿部美代子 (2)、鈴木美沙 (1)、畠山明彦 (1)、**笠井 猛** (2)、遠藤和美 (2)、畠山奈美子 (5)

町のホームページが出来ました。

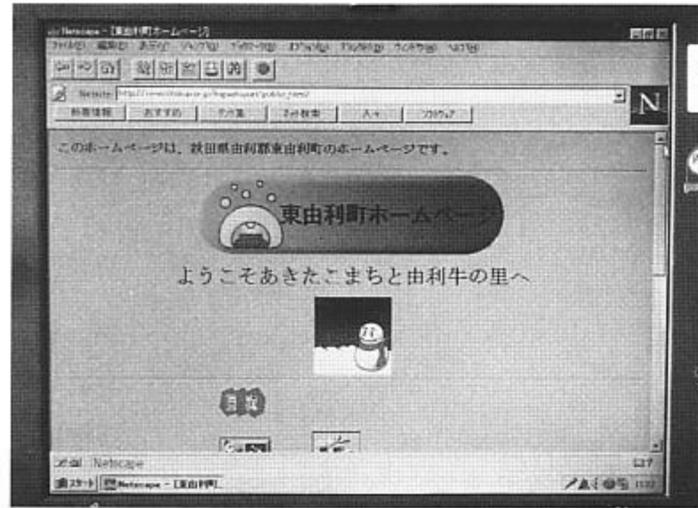
アドレスは

<http://chokai.or.jp/~higashiyuri>

Eメールは

higashi@marinet.or.jp

インターネットの普及により情報化が進む現代。町でも、情報発信をと、インターネット上にホームページを開設しました。ご覧になるためには、パソコンとソフトが必要で、また、アドレス、メー
ルは上記の通りです。主な内容として、町の概要、観光などの紹介・案内、町長日記、役場通信、町出身高橋宏幸先生の著書紹介などです。今後、定期的に内容を更新していきますので、



▲町ホームページ画面

インターネットの普及により情報化が進む現代。町でも、情報発信をと、インターネット上にホームページを開設しました。ご覧になるためには、パソコンとソフトが必要で、また、アドレス、メー
ルは上記の通りです。主な内容として、町の概要、観光などの紹介・案内、町長日記、役場通信、町出身高橋宏幸先生の著書紹介などです。今後、定期的に内容を更新していきますので、

本荘由利森林組合の原木市場では、昨年の秋頃から販売不振が続いており、市場価格も前年より安値となっています。景気の低迷と住宅着工数の減少が主な原因であり、スキの主伐や間伐の実施にブレキがかかっています。この国産材の危機を脱するためには、伐採団地に適した木材搬出作業道の整備と、高性能で作業道に適した搬出機械を導入して伐出経費を下げ、木材収入が得られる体制

林業だより
国産材時代

づくりを官民あげて取り組む必要があります。また、近年プレカット化(工場加工材)やパネル化など住宅部材の工業化が進んでおり、多くの乾燥製材品が輸入されて、スギやヒノキなどの生製材品は外材製材品との競争力を失っています。木材加工業界の乾燥製材品生産への取り組みが緊要です。



この二つの速やかな課題解決が国産材時代を迎えることになると思います。(町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏)

一月家畜市場

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	44	302kg	434,461	1,365
雌	23	280kg	341,341	1,159
合計	67	295kg	402,495	1,295

●最高金額 去勢 565,950 北国7-8 安美金 宮桜
●最高金額 雌 561,750 安美金 北国7-3 福谷1

木材共販市場

(平成十年二月・平均価格)
四五年生、五五年生

径級	単価/石	備考
直材30cm上	-	
同24~28cm	5,200~5,300円	乾燥材5,500円
同14~22cm	4,800~5,000円	
同14~22cm	5,200~5,300円	乾燥材
同13cm下	2,500~3,000円	
曲り材	2,000~3,000円	

全くの当用補充買い。在庫を極力減らす製材所が多く、商談もまとまらない。今後もこの傾向続く。

高校生の除雪ボランティア



▲除雪作業をがんばる高校生たち

下郷分校除雪ボランティア

二月十日、除雪作業ができない高齢者のために、下郷分校の生徒が町内老人世帯等で除雪ボランティア作業を行いました。雪が舞う中、生徒たちは一生懸命除雪作業に取り組みました。当日、訪れた家の一つ、葎沢の渡辺定吉さん宅では、奥さんのトシさんが「高校生の皆さんには本当にありがたく思っています。雪も多くなかなか除雪もできなくて」と話していました。

一本の綱による力くらべ



▲周囲の盛んな声援の中、綱引きが行われた

町民スポーツ祭・綱引き

二月十五日、健康増進センターで第四回町民スポーツ祭綱引き競技が開かれ、男子の部十四、女子の部七、小学生の部五チームの合計二十六チームが参加しました。周囲から盛んな声援がかけられる中、綱を持った両チームの参加者たちは持てる力を発揮していました。成績は次のとおり。

【総合の部】一位蔵、二位新町
 【男子の部】一位新町A、二位蔵B
 【女子の部】一位蔵、二位小倉
 【小学生の部】一位蔵、二位石高

雪上野球で寒さ吹き飛ばす



▲雪上でハッスルプレーが展開された

第七回雪上野球大会

二月二十二日、秋田県選抜雪上野球大会が勤労者野球場で行われました。今年は十チームが参加、寒さを吹き飛ばせとばかり、雪上で野球を楽しみました。この大会は「雪をマイナス要因と考えず、貴重な財産として受け止めよう」と東由利をおもしろくする会（小野克弘会長）などが中心になって開催したものです。雪上ならではの珍、好プレーに参加者は歓声をあげていました。

子どもとお年寄りの交流



▲お年寄りに指導を受け、なわな初体験

高齢者と子供の集い

二月二十日、第十一回ことぶき大学が有隣館で開かれました。午前中畠山昭雄氏の講話の後、午後から町内の小学校三年生四十六人がこま回し、あやとりなどの伝承遊びに興じました。この催しは、昭和五十五年からことぶき大学の一環として毎年行われているものです。お年寄りにとっては懐かしい遊びでも、子どもたちは初めて体験する新鮮な遊び。お年寄りに指導を受けながら試行錯誤しつつ楽しみました。

老後を安心して迎えるには

第十回婦人シンポジウム



▲参加者は真剣に介護保険制度について考えた

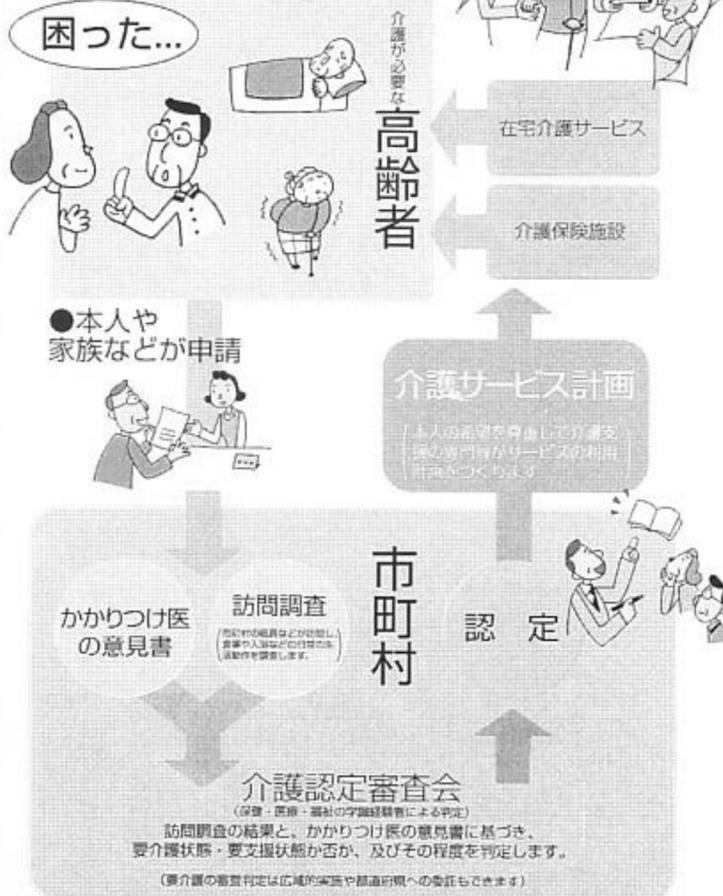
二月二十二日に行われた町婦人シンポジウム。テーマは「老後を安心して迎えるには」でした。

平成十二年から介護保険制度が導入されることで、私たちの生活と環境はどう変化するのか気になる昨今。会には百五十余名が参加しました。

今回、助言者に能代市社会福祉協議会の福祉活動専門員、安部美恵子氏をむかえ、小松恵治氏、佐藤文一氏、阿部長悦氏を発表者に提言発表が行われました。

また、安部氏の「二十一世紀はケアの時代」と題した講演が行われ、介護保険はなぜ行われるのか、福祉、保健、医療の連動こそが在宅福祉のキーワードではないかなど、興味深い内容の話に、参加者はしきりにメモをとっていました。

●要介護認定とサービスの利用方法●



写真で紹介する町の出来事

蔵地区でゆきまつり



2月14日、大蔵館を会場に蔵ゆきまつりが開かれた。凧作りなど子供からお年寄りまで楽しんだ。

建設技能組合が奉仕作業



2月13日、町建設技能組合が町内の学校で奉仕作業。校舎の壊れた箇所を補修を行った。

八塩小で親と子が雪上でふれあい



1月31日、八塩小でウインターフェスティバル。ソリリレー、雪山づくりなどを親子で楽しんだ。

町民の願い、交通安全



2月5日、県庁特別会議室で飲酒運転追放競争の表彰式。本町も全県4位に入賞、表彰を受けた。

東由利文化クラブ

虫歯

なんてないも〜ん。
2歳児健診
()内は保護者



小松聡子ちゃん
八日町(明さん)

佐藤悠作くん
蔵(和広さん)



高橋こはるちゃん
宇戸坂(勝義さん)



小松詩歩ちゃん
山崎(重文さん)

鎌田敏輝くん
黒淵(敏さん)



高橋大晟くん
舘合新田(重保さん)



伊東 昂くん
舘西(透さん)

高橋鈴香ちゃん
新町(孝紀さん)

3歳児健診 ()内は保護者



小野夏実ちゃん
宿(智行さん)



嶽石智大くん
八日町(嘉規さん)



佐々木穂乃香ちゃん
大琴(直さん)



面白かったヨ、健康大学での福祉寸劇

健康大学でのひとコマ。「痴呆(ボケ)の方を介護する家族の悩み」と題した寸劇に、会場は笑いに包まれていました。この寸劇、保健婦を中心に、社会福祉協議会などの有志一同が、演じたもので、脚本、舞台なども自作です。「痴呆について良く分かった」と好評でした。



▲宿駐在所、菅原巡查長も飛び入り



アイドルをさがせ!

佐藤銀兵くん(9カ月)
お父さん:秀俊さん
お母さん:真弓さん

【下通】

「好奇心旺盛で、活発。とても元気な子どもです。二人のお兄ちゃん(長男が勇児くん、次男が恵介くん)も元気ですが、負けないくらいです。二人とも、面倒見が良くてありがたいですね。好きなものは、食べ物では、くだもの。雑誌も見てるので本も好きかもしれないです。さうじ。いつも泣いてしまいます。あと、初対面の女の人には、人見知りしてしまいます。どちらかというと、お母さんっこみたいです。夜は添い寝してあげないと寝ませんからね。将来はすくすくと育ってほしいと思います」
お話..お母さん・真弓さん

東由利の文芸

せせらぎ句会

くべ足して薪ストーブにもてなざる
悪態も生きぬく証し寒の入り
隙間より春光もらう仮住い
受験子に微笑むだけの力貸す
大寒や医院に丸き老女の座
雪卸し青空に立つ梯子かな
天に花咲けと庭木に豆を打つ
塩加減亡妻のメモあり冬厨
五分咲きの寒菊ほのと匂いもつ

下小路 小松 女沙
秋田市 嵯峨 義之
湯出野 佐藤 正義
山崎 小松 良子
下通 小松 忠正
高戸屋 小松 敏雄
家ノ下 小松 正昭
久保 高橋 典三
五海保 嶽石 レイ

春光を浴びてジャンパーK点へ
寒鱈を呼ぶ海鳥の群れ飛べり
手庇に余る春光と真向えり
新墓の孤灯に深雪更けゆきぬ
路地の雪掻きて隣りに近づけり
余寒なお薪をつぎ足し座をたもつ
三尺の雪の下より野菜出す
立春の日射し大地をふくらます
牛の仔に角の兆しや春立ちぬ
ことごとと大根煮えて雪止まず
春光に御嶽の禿の輝けり
つつましく習う茶道や春浅し
如月の水に逆らう川の杭

船木 大庭喜右エ門
中通 小松順之助
横小路 宮野源二郎
舟打場 高橋民治郎
上里 小野石路子
蔵新田 小笠原亮子
蔵新田 小笠原トミ
小倉 小野 貞子
時雨山 吉川 葉子
湯出野 菊地 常作
蔵 阿部 澄子
横波 高橋ヒデ子

童話を あなたに

ねずみの兄弟が、どうくつで大昔のきょうりゅうの話をしていて、と、弟ねずみが、どうくつの外にきょうりゅうの姿を見つけてました。二人で追いかけて行くと、かえるときょうちよに出会いました。でもたずねてみても見かけなかったというのです。

次に二人は沼にいたかばに聞きました。でもかばも見かけなかつ

たといいます。

だんだんどうくつから見えた丘に近づいていくのですが、なかなかきょうりゅうの姿を見つけないことができません。

二人の見た大昔のきょうりゅうは、たしかに暗いどうくつから見えたのですけれど、森の仲間はずひひとりとして知らないのです。

はたして丘の上のきょうりゅうをねずみの兄弟は見つけることができるのでしょうか。

この本は、とてもユニークな切り絵のしかけ絵本になっています。

卒業にあたって

卒業にあたって

下郷分校三年

佐々木 幸子さん



私は、下郷分校に入学して、本当にたくさんのお話を学んだと思います。勉強はもちろんですが、みんなと協力し、努力すれば大きな成果が得られるということも学びました。

また、修学旅行や運動会、強歩

大会などの学校行事でたくさんのお話を聞くこともできました。

苦しいこともありましたが、辛い今では大切な思い出です。いつまでも忘れずにいたいと思います。

そして、私はいつもたくさんのお話を支えられてきました。そういったみんなの協力があったからこそ、頑張れたことも数多くありました。

しかし、この春から私たちはそれぞれ別々の道を進んでいかなければなりません。私自身、今は不安でいっぱいですが、この三年間で学んだこと、経験したことを糧にし、自分のすることに責任を持つていきたいと思えます。そして社会の一員として、立派にやりこなせるように努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、今までお世話になった先生方、本当にありがとうございました。

す。いろいろなシリーズがありますが、小さい子どもでも十分楽しめます。

ページをめくるたび、わくわくするすてきな切り絵の絵本です。

紹介者・小野邦子さん(宿)



きょうりゅうだあ!!
きむらゆういち 作・絵

むかしむかし

牛清水

九

むかしむかし、高屋の部落に、あそびざかりの娘を中に、親子三人で暮らしている家がありました。娘は、父や母の手助けにと、牛のめんどうを見ているのです。

ある日のこと、母牛は毛の黒いかわい子牛を産みました。母牛は、大切に子牛をかばいながら、やさしくなめてやるのでした。それから、ひと冬越した頃、母牛は突然病気になる、あつけないで死んでしまい、のこされた子牛は、母牛のお乳をほしがり、さびしそくに鳴くのでした。

娘は、やわらかな干草を与えたりして育ててくれたが、母牛のお乳が足りなかったせいか、夏になっても、もつそりとした毛並み、やせ細ったからだは、なかなか大きくなってくれない



21世紀に向け、郵便局はもっと身近に、ますます便利になります。

「郵便局ビジョン2010」をご存じですか。これは二十一世紀の郵便局はどうあるべきか、その展望をまとめたものです。

ここでは、地域に密着した郵便局の全国ネットワークをいかに有効活用するかが鍵になると提言しています。

「情報、安心、交流」がそのキーワードです。例えば「安心」の

中に盛り込まれているひまわりサービスは、郵便外務員の方がお年寄りのみのお宅に郵便を配達する時、励ましの声かけを行うもの。地域に密着した郵便局。二十一世紀に向け、今後の活動が期待されます。



のでした。娘は、昼も夜も子牛から離れず、熱心にせわをするのでした。これを見た父親は、娘を心配し、秋の矢島市場で売ることにしました。

その日の朝早く、娘は子牛の手入れをし、父親と二人で市場に出かけました。矢島の立石に出る山道をいやそうに歩く子牛の後で、もう少し大きくなっていてくれたらなあ、かわいそうにと娘はついていくのでした。

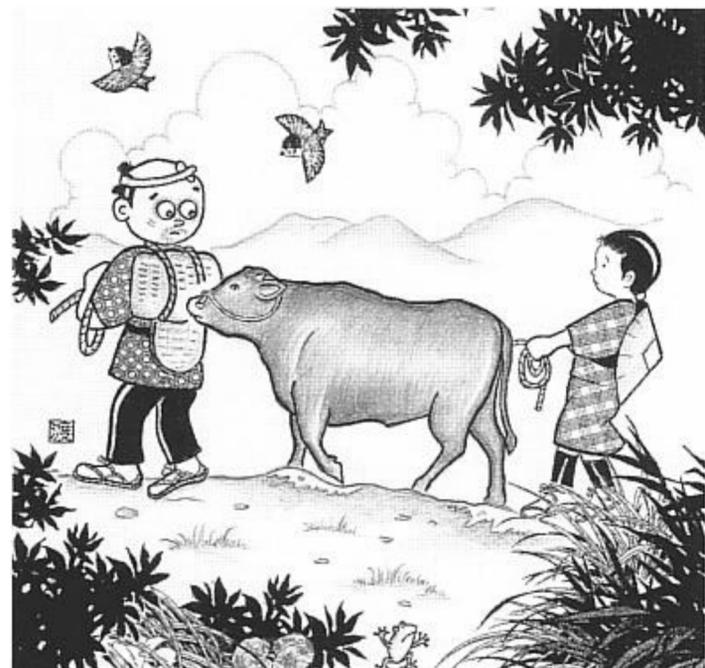
子牛にかわっていたのでした。子牛は、矢島市場一番の高値で売れました。きつと、娘の子牛を思うやさしい心が通じたに違いないと村人の評判になりました。

そんなことがあってから、この清水を牛清水と呼ぶようになったということです。

(文と絵・石渡力造氏)

山の中腹にさしかかったとき、子牛は何におどろいたのか、急に暴れだし、沢の奥の方に走り去ったのでした。子牛を逃がした親子は夢中になって探し廻りました。

しばらくして、熊世の生い茂っている辺りに湧き出ている清水で、子牛は水をのんでいたのです。急いで駆けよった親子はびっくりしました。あのやせ細った子牛が不思議なことに、毛色のつやつや光る立派な



3月▶データ東由利

〈1/1～/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男……………2,590人 (△4)
- 女……………2,743人 (△1)
- 計……………5,333人 (△5)
- 世帯数………1,399戸 (2)

……………

() は1月からの累計

- ・出生4人(4)・死亡8人(8)
- ・転入8人(8)・転出9人(9)

- 火災出動……………0件 (0)
- 救急出動……………13件 (13)
- 交通事故……………1件 (1)
- ・死亡……………0人 (0)
- ・傷者……………1人 (1)
- 飲酒運転……………0人 (0)
- 酒気帯び……………0人 (0)

東由利

郷土の野草

NO.157

アメリカセンダングサ (キク科)

北アメリカ原産の帰化植物で、原野、畔など至る所に繁茂する一年草です。葉の形がセンダンに似ているので、この名があります。



茎は百五十センチぐらい、暗紫色で角ばっています。九月から十月ごろ黄色の頭状花をつけますが、それを囲んでいる総苞が葉状で、写真のように四方に開いてつきます。種子は長楕円形を半分にしたような形で、その芒に二本の刺があり、衣服について運ばれ繁殖します。強い匂いがありますが、私はシベリア抑留中、若葉を茹でて空腹を凌ぎました。

文・写真 小松忠正氏

広報クイズ

答えが分かった方は、はがきに答え、住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、東由利町役場広報まで。締切は三月二十日です。

前回の解答は横荘鉄道でした。佐藤潔さん(八日町)、菊地朝子さん(静岡県富士市)、小松史門さん(高戸屋)以上の方が当選しました。

問・一月は睦月、二月は如月。さて三月は？。



3月の行事予定

- 1 やしお元気まつり
- 4 町スポーツ栄誉賞 芸術文化奨励賞表彰式
- 5 3月議会定例会(初日)
- 8 在宅介護者教室(いちよう館)
- 10 ことぶき大学
- 13 東由利中学校卒業式
- 16 1/2成人式(大琴小)
- 17 高瀬小学校卒業式
- 18 大琴小学校卒業式 八塩小学校卒業式
- 19 寄宿舍閉舎式
- 21 春分の日
- 25 永慶保育園卒園式
- 28 みどり保育園卒園式



戸籍の窓口

(1月20日～2月21日届出)

●お誕生おめでとう

- 1/21 木 島 健吾くん(省吾) 清子(大台)
- 1/26 千 葉 優平くん(康悦) 晴美(黒沢)
- 1/26 佐 藤 芽生さん(敏也) 千恵子(高屋)
- 1/31 志 村 大成くん(宗篤) 和子(新町)
- 2/1 畠 山 菜々子さん(洋子) 知也(中通)
- 2/6 小 野 志織さん(武志) 千里(吹)

●ごめい福をお祈りいたします

- 1/21 小野トキ子さん(62・喜一) 妻 湯出野
- 1/22 高橋金治郎さん(88・敬生) 父 土前
- 1/27 太田竹三郎さん(74・イサ) 夫 大吹川
- 1/27 畠山 ノブさん(81・乙美) 母 下通
- 2/3 小松ヤスエさん(90・トミ) 母 新町
- 2/16 小野 勇雄さん(79・アサエ) 夫 高屋

まごいっろ

町社会福祉協議会に木内むめさん(岩城町)、小松勅三さん(西目町)、小野喜一さん(湯出野)、佐々木昭二郎さん(大台)、太田良治さん(大吹川)、畠山乙美さん(下通)からご芳志が届けられました。

町の宝もの

第71回

東由利がかつて海底であったことは周知のこと、今から約二千万年前に、今のような陸地が形成されたと考えられています。

写真は祝沢川上流北側斜面で見つけた、イタヤ貝科二枚貝の種類の一つであるミズホペクテンと思われる。

形状のはっきりした化石を探しましたが、斜面は化石探査採取した跡が無数に見られ、完全なものも残念ながら見つかることができませんでした。(東由利中の理科室には標本があります)

東由利町内では、鯨・サメの歯・二枚貝の種類・数ミリメートルの軟体動物など、多くの化石が

貝の化石(祝沢)

見つかっており、化石の宝庫とも言われています。夏になると採取の七つ道具を持った学者が訪れると地元の人達が話しています。

文・畑山昭一氏

